

那須北3市町の合併
効果について



滝田 一郎 議員

質問…合併の長所、短所、メリット、デメリットについて

- ① 知名度やブランド推進等県北の中核都市としての発展可能性。
 - ② 市民のためのきめ細やかな行政など市民サービス。
 - ③ 行政の充実、効率化と行政コスト削減。
 - ④ 財政基盤の充実と強化。
- これらの観点から伺います。

答弁…①については、宇都宮市

に続き栃木県内で2つ目の中核市となり、県内外における認知

度が向上し、それに伴い観光客など交流人口の増加や企業誘致の促進等といった都市の活性化が期待されます。②③④については、県と市の2段階で行っている許認可事務等を市が一元的に行うことにより、事務の効率化が図られきめ細やかな市民サービスの提供が可能となります。

す。また公共施設やインフラ類

似施設の重複維持がなくなり、行政コストの削減や財政基盤の強化が期待されます。総合的に考えて、那須地区3市町の合併効果は大きく必要と考えていますが合併を進めるためには本市内外の各方面からご理解や協力を得なければならぬため、そうした機運が醸成するよう努力をしております。

一般質問



伊賀 純 議員

市長選挙について

質問…新聞報道にある4選出馬に対して伺います。

答弁…前提条件として、コロナをきちんと抑えること、財政健全化の道筋をつけること、国政選挙で結果を出すことの3点を考え、それらが達成できたので、次の4年間でやりたかった施策、具現化をしっかりとやり遂げたいという思いが強くなり、出馬の表明をしました。

質問…多くの市民からの声もあり、3期12年を自身の公約として訴えられたのは事実でしょうか伺います。

答弁…選挙公約として申し上げました。
質問…自身と市民の間での公約というお約束を市長はどう考えるのか伺います。
答弁…公約はしっかりと守らなければなりません。市民と立候補

者の約束事と理解しています。今日まで市政を預かる立場として、日々自分を戒めてきました

が、市民の皆様方の選択、いわゆる選挙をとおして4期目が負託されるかされないか、そこに民主政治の原点がかかっています。政策議論をとおして、有権者が真剣に今後の大田原市政を考えていく選挙になるのかどうかと考えております。